

毎年2月最終日は世界希少・難治性疾患の日(Rare Disease Day/RDD)

(アールディディ) ってなぁに?

世界中の希少・難治性疾患の患者数を 一疾患ごとの患者数が少ないため病気に ついてわからないことも多く、診断機会や 治療法、関係者や周囲からの理解などが 不足している現状があります。

世界希少・難治性疾患の日 (Rare Disease あわせると3億人と推定されます。しかし、 Day, RDD)は、世界中の希少・難治性疾患 の患者さんやご家族にとって、より良い診 断や治療による生活の質(QOL)の向上を 目指す活動です。

うるう年の「Rareな日」にあわせ、毎年2月

最終日が定義日となっています。2008年 からヨーロッパでスタートした本領域世界 最大の社会啓発イベントであり、日本でも その趣旨に賛同して2010年から全国で 開催し、患者や家族同士、関係者らがつな がる機会をつくっています。

世界希少・難治性疾患の日 in にいがた RDD2025

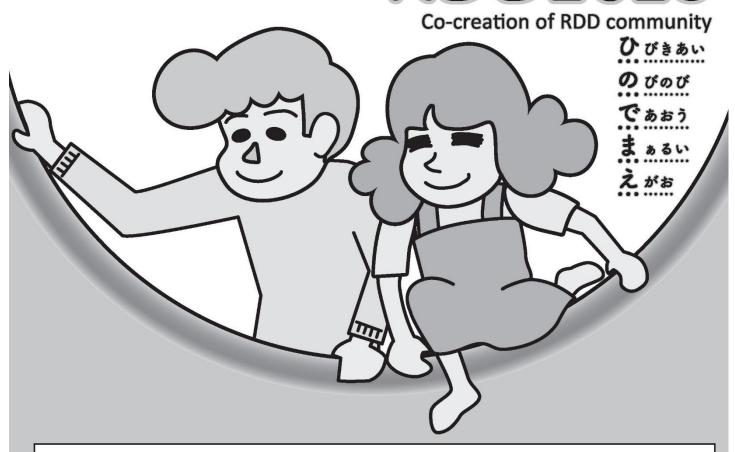
令和7年3月12日(水)13:30~15:30 西新潟中央病院 ロビー・講堂

(新潟市西区真砂 1 丁目 14番 1号)





RDD2025



※事前申込不要・入場無料

第1部 会場 ロビー

(13:30~14:50)・ピアニスト内田美果さんによる演奏 休憩・移動

会場 講堂

• RDD オフィシャル映像の上映

第2部 会場 講堂

(14:50~15:30)・難病の方のつどい(患者さん・ご家族等による交流会)

◎西新潟中央病院1階通路で患者会情報などのパネルを展示しています。

※会場が病院内のため、マスク着用の上ご来場ください。

主催:NPO 法人新潟難病支援ネットワーク

共催:新潟県・新潟市難病相談支援センター

問い合わせ 025-267-2170











https://www.facebook.com/rddjapan/







